

富士ゼロックス

Fuji Xerox Co., Ltd.

プリンタとソリューション一体で 基幹帳票印刷の付加価値を高める



IBM i市場に向けた 富士ゼロックスのプリンタ戦略

オフィスプリンタの主力ベンダーである富士ゼロックスは、オフィス複合機としてDocuCentreおよびApeosPortシリーズ、レーザープリンタではDocuPrintシリーズの各ラインナップを揃える。カラーレーザーの主力製品は、2010年4月に発売されたA3対応の「DocuPrint C3350」。環境負荷低減の観点から内部設計を大幅に見直し、このクラスのプリンタでは最高レベルの省エネ性能を実現している。

同社はIBM i市場をターゲットにした基幹帳票印刷のオープン化に積極的に取り組んできた。その戦略の核になるのが、IBM i向けプリンティングソリューションで実績の高いアイエステクノポートとの協業であり、同社が開発・販売するPDF生成ツール「UT/400-iPDC」との連携である。

IBM iユーザーに向けた同社の提案は、以下の4つが軸になっている。

- (1) 「UT/400-iPDC」によるPDF生成
- (2) 「UT/400ダイレクト印刷オプション for Fuji Xerox Devices」との連携
- (3) ICカード認証によるペーパーセキュリティ

(4) 出力環境最適化プログラム

(1)と(2)は、「UT/400-iPDC」を核にしたソフトウェア面からのアプローチで、IBM iの帳票作成・編集印刷ニーズに応えるもの。

(3)は、複合機やプリンタが備えるICカードリーダーを利用して、ユーザー認証を実施する。自分が出力指示した文書だけを印刷することで、印刷物の取り忘れや取り違い、間違ったプリンタへの出力指示など、情報漏えいのリスクを防止するもの。

そして(4)は、社内の印刷環境の最適化に向けたコンサルテーションサービスである。

出力機器の配置や台数、出力枚数の現状調査から始まり、印刷機器の統廃合と最適配置、両面印刷／2アップ印刷や電子化による出力枚数の削減など、さまざまな改善策を提案。最適な出力環境の実現により、機器台数や出力枚数、スペースや消費電力などを含めたコスト削減を実現するのが狙いだ。

UT/400シリーズとの連携で IBM iからダイレクト印刷

この中で、IBM i市場での実績拡大の原動力が、(1)と(2)によるIBM i基

幹帳票印刷のオープン化である。

富士ゼロックスでは、「UT/400ダイレクト印刷オプション for Fuji Xerox Devices」がリリースされた1年半ほど前から、ドット／ラインプリンタから複合機／レーザープリンタへの移行、および複写・連続帳票からA4カット紙への移行提案を活発化させてきた。すでに「UT/400-iPDC」との連携により、全国で200本以上の導入実績がある。

「UT/400-iPDC」は、IBM iのスプールデータから表現力の高いPDFファイルを作成する。単純にPDFへ変換するのではなく、画像やフォント・罫線・網掛け・各種バーコードなどを表示して、表現力の高いドキュメントへとレベルアップさせる。

同製品に帳票設計機能はサポートされていないが、複写・連続帳票からカット紙への移行に必要なオーバーレイ機能は、コベルコシステムの帳票設計ツール「FINE OVL (ファインオーブイエル) iPDC版」をアドオンで組み込む。

そして同社の提案を最も特徴付けているのが、「UT/400ダイレクト印刷オプション for Fuji Xerox Devices」との連携である。作成されたPDFファイルをセッションレスで、かつPCなどのプリンティングサーバーを経由することなく、IBM iからダイレクトに複合機やレーザープリンタに出力できる。

主力製品



DocuCentre-IV
C2260

フルカラー
デジタル複合機



DocuPrint
C3350

A3対応の
カラーレーザープリンタ

SOLUTION
UT/400-iPDC

第1特集

PRINTER
Solution Approach

富士ゼロックス株式会社
<http://www.fujixerox.co.jp/>

株式会社アイエステクノポート
<http://www.istechnoport.co.jp/>

他社の導入提案と違って、Windowsサーバーの増加を嫌い、IBM i上で運用を完結させたいと望むユーザーにとっては、大きなポイントであり、節電対策としても効果的だろう。

また両面印刷／2アップ印刷、トレ

イ指定、ステープル（ホチキス）など、オフィスプリンタが備える多様な性能を基幹の帳票印刷で利用できる点もメリットである。

同社では業務改革の側面をもつ複写帳票からカット紙への移行を足が

りに、得意領域であるドキュメントフローやワークフローの改善提案につなげていく。基幹帳票出力の付加価値を高める提案活動に向けて、IBM i市場に強いビジネスパートナーとの協業を強めていく戦略のようだ。

富士ゼロックス
提案シナリオ

ポイント

UT/400-iPDC と UT/400 ダイレクト印刷オプション for Fuji Xerox Devices で、サーバーレス・セッションレスのダイレクト印刷を実現する

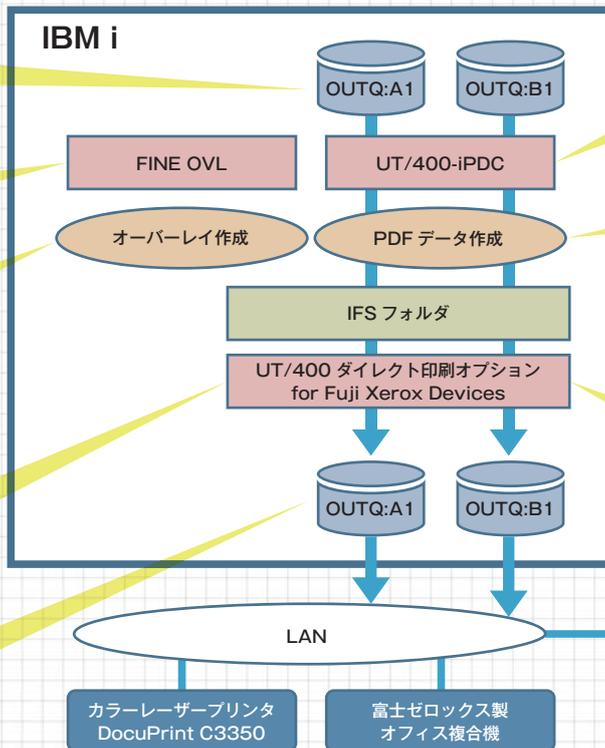
スプールから自動仕分け。必要ページの組み合わせで無駄な印刷を削減

既存の APW 定義や DDS 罫線をインポート可能で、印刷資源を継承

オーバーレイ機能で複写伝票をカット紙へ移行

両面印刷／2アップ印刷、トレイ指定、ステープル（ホチキス）、パンチなどプリンタの備える高機能を基幹の帳票印刷に活用

OUTQ を自動監視。アプリケーションからのデータ送信時に自動印刷



スプールファイルの Web 配信、メール／Fax の自動配信などの多彩な配信オプションあり

画像の組み込み、フォント、網掛け、カラー、各種バーコード、暗号化、セキュリティに対応し、表現力の高い PDF 生成

セッションレス、サーバーレスで IBM i からプリンタにダイレクト印刷

IBM i 上で完結！
プリンティングサーバーの障害管理が不要に

Windows とプリンタを共有